

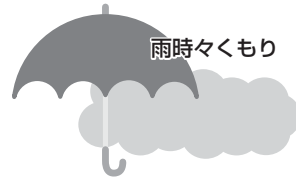


3 調査日はどんな日だったんだろう？



当日の天気

7月23日は梅雨前線の活動が活発になり、午前はくもりで昼頃から雨が降りました。

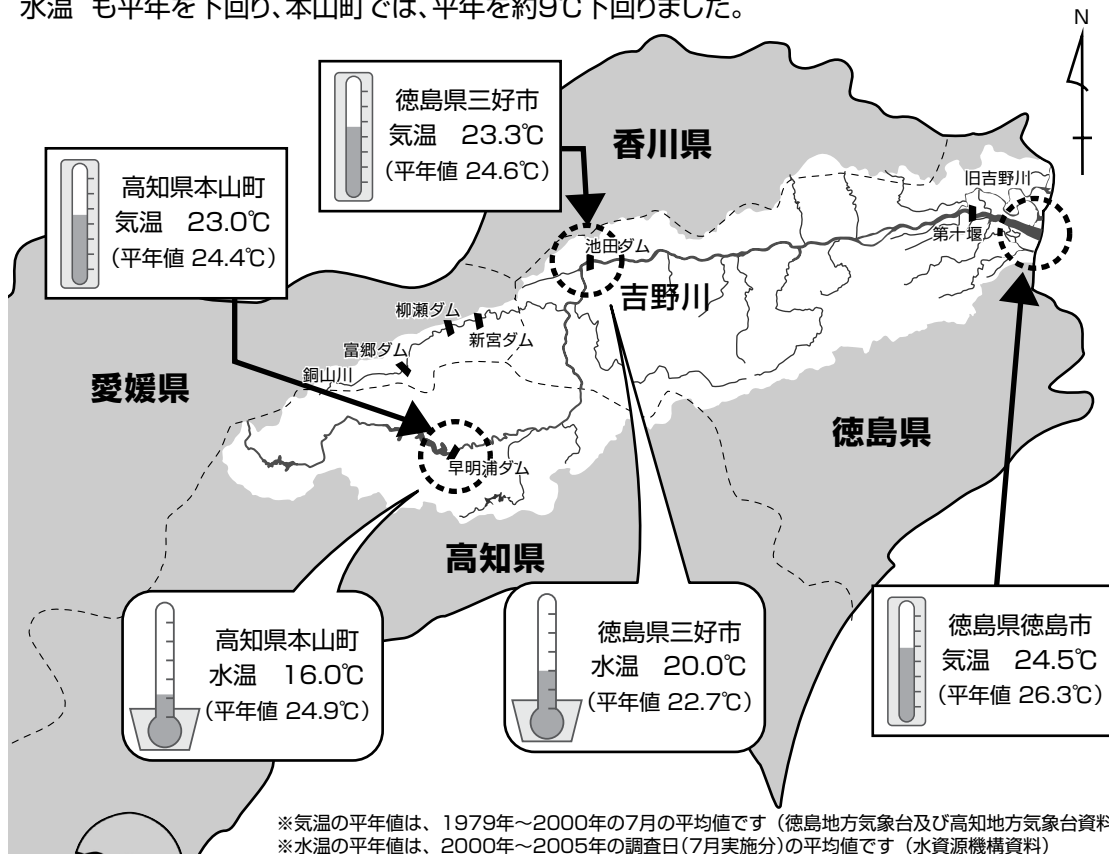


四国地方 | 梅雨入り 6月8日ごろ 梅雨明け 7月26日ごろ



気温と水温

7月23日は太陽が照らなかったことから、調査日の平均気温は平年を1～2℃下回りました。水温 も平年を下回り、本山町では、平年を約9℃下回りました。



雨の日の水質

川の水質は雨が降れば変わります。また、雨の降り方、雨の降る地域によって水質の変化は異なります。

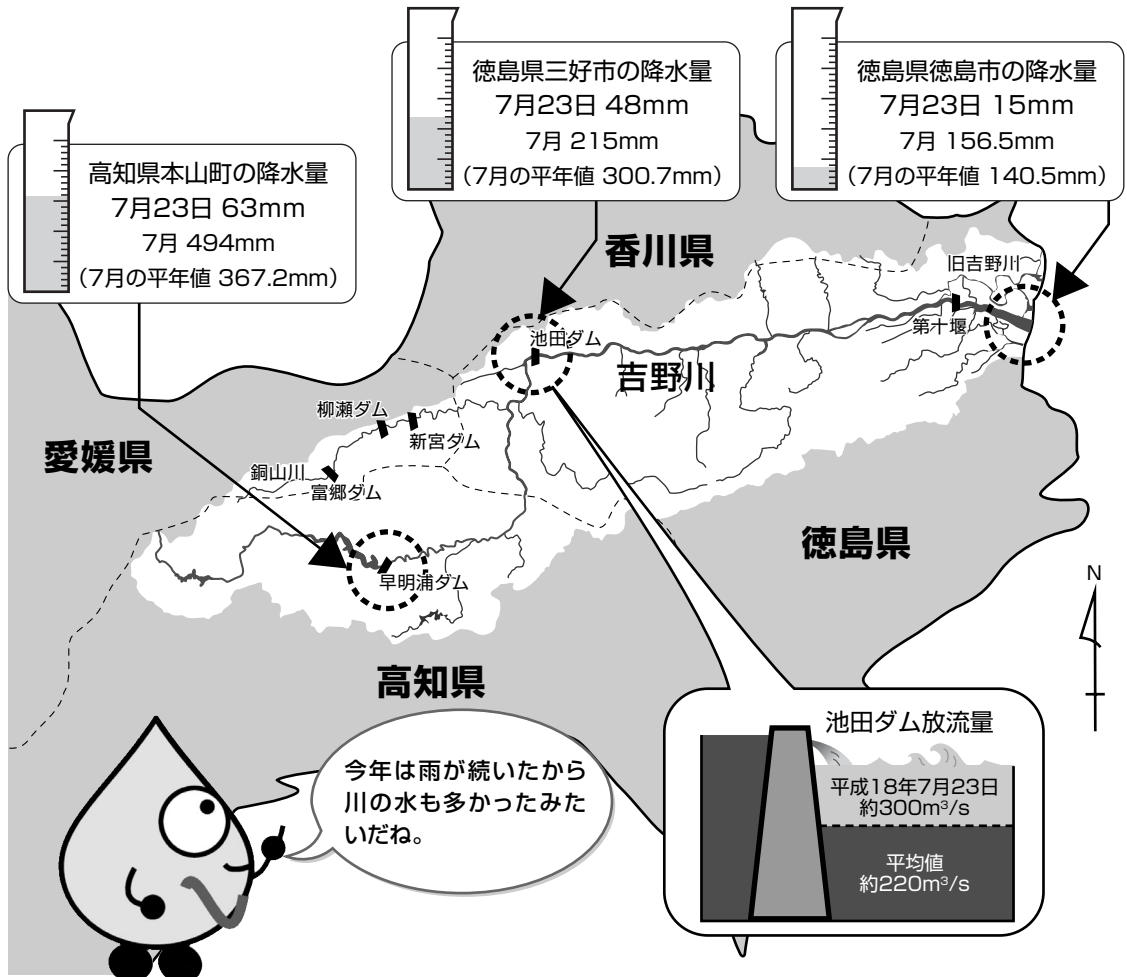
例えば、雨の日のCODについて次のような傾向がみられます。

- ・流量の増加により希釈されて、CODが低くなる場合があります。
- ・増水により川底に蓄積されていたよごれが舞い上がり、CODが高くなる場合があります。

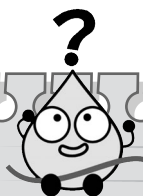
調査日までの雨や川の水量

梅雨前線の活動が活発になり、7月23日は昼頃から雨が降りました。吉野川流域では、下流にくらべて上流で雨が多く降りました。

また、7月17日から断続的に降っている雨により、川の水はふだんより多く流れていました。池田ダムの放流量も過去の調査日の平均値にくらべて多く流れていました。



※降水量の平均値は、1979年～2000年の7月の平均値です（徳島地方気象台及び高知県気象台資料）
 ※池田ダム放流量の平均値は、2000年～2005年の調査日（7月実施分）の結果を平均した値です（水資源機構資料）



流量と水質の関係は？

流量とは、ある地点を流れる水の量のことで、単位はm³/s（立方メートル毎秒）です。

川の流量は、降水量や上流にあるダムの調節などによってかわります。

川の流量が少ないと、魚がすめなくなったり、産卵ができなくなる場合があります。また、濁水時に水質が悪化する川があります。

このように、川の流量が少なすぎると、動植物や水質に悪影響を及ぼす場合があるので、流量をはかることは大切です。

